

## 第8回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年7月26日(土) 10:00 ~ 11:30	場所	臼杵市役所 臼杵庁舎 中会議室
団体名	うすきの未来を考える女性の会		
団体概要	今の臼杵市で感じてる事などを母、主婦、女性目線で考えて、これからの臼杵のまちづくりに活かしてもらいたいと思う女性の会です。		
話し合いのテーマ	①防災について ②教育について ③農業について、その他		
参加者	7名(団体メンバー6名、西岡市長)		

### 対話の様子

対話では、3つのテーマに沿って活発な意見交換が行われました。参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

#### ①防災について

- 指定避難所で避難した際に、飲料水を提供してほしい。
- 高齢者サロンのお世話をしているが、そういった場所では、お年寄りの方に対して「災害が発生したら早く逃げるんよ」とか「怪我をした時はこうするんよ」など直接伝えることができるので大事なコミュニティだと感じている。

#### ②教育について

- 臼杵石仏など、子どもたちが臼杵の歴史や文化に触れる機会を増やし、郷土(ふるさと)を愛する心をはぐくむ教育に力を入れて欲しい。そうした取組が進めば、臼杵に住み続けたいと思う子どもたちが増え、市外に出たとしても、いずれは臼杵に帰ってきてくれるのではないかな。
- 小中学校の校舎周辺やグラウンドの管理(草刈りなど)が学校の先生の負担になっている。退職校長会で年に1回学校の草刈りを支援する活動を行っているが、校長会も高齢化しており、全ての学校を周ることができなくなってきている。

#### ③農業について

- 臼杵市の産品として甘太くん(高糖度かんしょ)の人气が非常に高い。ただ、甘太くんを使った加工品はあまり見ないので青果で出せない甘太くんを使って加工品をつくってはどうか。

市長からは、以下のような話がありました。

- (避難所の飲料水の件について)これまでの防災啓発の中で、飲料水については、基本的に避難する際に各自で準備していただきたいと伝えているところです。自助の面からも、非常持ち出し袋には飲料水を常備しておいていただくよう今後も啓発をしていきたいと考えています。
- 東日本大震災から時間が経つにつれて、防災意識が少し薄れてきている。改めて防災対策の充実を図りたい。
- 臼杵石仏が国宝指定されて今年で30周年を迎えた。若い学者さんで、石仏の耳の形に着目して研究している方がいる。その方曰く、耳の形で年代が違うとのことで、非常に面白い着眼点だと感じた。そういった研究も参考に、子どもたちが興味を持つよう工夫しながら臼杵の歴史や文化を伝えていきたい。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

